

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8日

(宛先) さいたま市長

提出者

住 所 さいたま市西区指扇領別所366-24

氏 名 福田道路株式会社 埼玉営業所

所 長 五十嵐 弘光

電話番号 048-622-3636

さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第12条の2第1項の規定により、令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業所の名称	福田道路株式会社 埼玉営業所
事業所の所在地	さいたま市西区指扇領別所366-24
計画期間	令和5年 4月 1日～令和 6年 3月 31日
変更の概要	無し

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	昨年度の元請完成工事高 22,414,000円-
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>がれき類 → 破砕 →再生砕石・砂として再利用</p> <p>木くず → 砕石 →燃料チップとして再利用</p> <p>廃プラスチック → 破砕 →セメント原料として再利用</p> <p>建設混合廃棄物→破砕→再生砕石・砂として再利用</p> <p>・発生した各産業廃棄物については、再生利用ができる委託業者に処理を依頼している。</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

福田道路(株)埼玉営業所組織図 廃棄物担当組織人員 4名

責任者 埼玉営業所 所長

現場担当書 工務安全担当課長

報告者・更新担当 工務安全担当課長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		別紙-1とおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各産業廃棄物について、必要最低量の発生にとどめる為、現地踏査を入念に行った。		
② 計画	【目標】		別紙-1とおり
	産業廃棄物の種類)
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまで通り、各産業廃棄物について必要最低量の発生にとどめるように当社では、現地踏査を重点的に行う予定である		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら・アスファルトがらと混入しないように積荷で分別した
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分類を継続する予定です。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ありません		
② 計画	【目標】 別紙-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在予定ありません		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ありません		
② 計画	【目標】 別紙-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在予定ありません		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		別紙-2とおりの
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ありません		
② 計画	【目標】		別紙-2とおりの
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在予定していません		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		別紙-2とおりの
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで発生した各産業廃棄物については、再生利用ができる委託業者に依頼している。		

② 計画	【目標】		別紙-2とおりの	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後についても発生した各産業廃棄物については、再生利用ができる委託業者に処理を依頼する予定である。</p>			
※事務処理欄				

備考

- 1 事業所において常時使用される従業員数が300人以上の製造業者、事業所において常時使用される従業員数が100人以上若しくは資本金（あるいは出資金）の額が5,000万円以上の建設業者、一日当たりの施設能力が30万m³以上の浄水場管理者等又は一日当たりの施設能力が3万m³以上の下水道終末処理場管理者等が事業所ごとに、日本工業規格A4により作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「変更の概要」の欄は、処理計画の内容を変更する場合に記入することとし、その記入に当たっては、変更をした部分について、変更前及び変更後の概要を対照させること。
- 4 「当該事業所において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業所において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※事務処理欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）	その他のがれき類			
	排出量	24.0 t	88.0 t	23.0 t	7.0 t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	排出量	15.0 t	20.0 t	10.0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

別紙 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和4年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）	その他のがれき類			
	全処理委託量	24.0 t	88.0 t	23.0 t	7.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	23.0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	24.0 t	88.0 t	0 t	7.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	混合（管理型含む）				
	全処理委託量	15.0 t	20.0 t	10.0 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	10.0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	15.0 t	20.0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t